

かみす市議会だより

□発行／神栖市議会 □神栖市議会だより編集委員会

〒314-0192 茨城県神栖市溝口4991-5 TEL. 0299-90-1172(直) FAX. 0299-90-1116

□ホームページアドレス <http://kamisu.gsl-service.net/>



おもな内容

定例会議決結果一覧	P. 2
議員による賛否一覧	P. 4
一般質問	P. 6
委員会での主な質疑内容	P. 15
委員会が行政視察を実施	P. 17
市議会のうごき	P. 18

海岸清掃

7月8日(土) 海岸清掃が
日川浜海水浴場で行われ、
約2,500人が参加しました。

平成29年神栖市議会・第2回定例会

平成29年第2回定例会を6月13日から6月27日までの会期15日間の日程で開き、条例に関するもの3件、予算に関するもの2件、契約に関するもの2件、市道路線に関するもの2件、専決処分の承認を求めるもの2件、報告に関するもの4件、請願2件の計17件の審議を行いました。

議案等議決結果一覧

議案番号	件名	内容	議決結果
議案第1号	神栖市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	復興産業集積区域内において新增設した家屋、償却資産及び家屋の敷地である土地について、固定資産税の課税免除を行う適用期限を延長するため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第2号	神栖市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例	道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正に伴い、引用する条項の整理をするため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第3号	神栖市都市公園条例の一部を改正する条例	都市公園を占用する場合の使用料について、市における他の行政財産使用料との均衡を図り、併せて条項の整理をするため、所要の改正を行うものです。	原案可決
議案第4号	平成29年度神栖市一般会計補正予算（第2号）	社会福祉管理事業において保護司の活動を支援するため鹿島地区保護司会神栖支部補助金を増額すること、また、道路橋梁総務費において道路境界確定のため道路用地の測量調査等を行うことについて補正予算を計上するものです。	原案可決
議案第5号	平成29年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	補正の主な内容は、歳出では、前期高齢者交付金及び後期高齢者医療の国庫負担金の算定等に関する政令の一部改正に伴う前期高齢者納付金の不足分を増額するため、補正するものです。歳入では、前期高齢者交付金について平成27年度前期高齢者交付金の確定による精算に伴い、増額補正するものです。	原案可決
議案第6号	工事請負契約の締結について ・大野原児童館改築工事	去る5月12日に入札を執行した結果、落札者と仮契約を締結したので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。	原案可決
議案第7号	工事請負契約の締結について ・神栖市立波崎第一中学校グラウンド整備工事	去る5月12日に入札を執行した結果、落札者と仮契約を締結したので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。	原案可決

議案等議決結果一覧

議案番号	件 名	内 容	議決結果
議案第8号	神栖市道路線の認定について	開発行為に伴う寄附によるものについて、市道として一般の用に供するため、道路法第8条第2項の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。	原案可決
議案第9号	神栖市道路線の変更について	寄附による延長増及び市道認定の一部廃止に伴う延長減について、道路法第10条第3項の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。	原案可決
議案第10号	専決処分の承認を求めることについて ・神栖市税条例の一部を改正する条例	個人市民税の控除対象配偶者の定義変更に伴う規定の整備、軽自動車税のグリーン化特例の適用期限の延長等についてであり、3月31日に専決処分したものです。	承認
議案第11号	専決処分の承認を求めることについて ・平成29年度神栖市一般会計補正予算（第1号）	選挙管理委員会費において、（仮称）防災アリーナ整備事業に係る規模の見直し賛否を問う住民投票条例制定請求における、署名簿の審査に要する経費を措置するため補正予算を計上するものであり、5月17日に専決処分したものです。	承認
報告第1号	平成28年度神栖市一般会計繰越明許費繰越計算書	地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、報告するものです。	報告済
報告第2号	平成28年度神栖市一般会計事故繰越し繰越計算書	地方自治法施行令第150条第3項の規定に基づき、報告するものです。	報告済
報告第3号	平成28年度神栖市水道事業会計継続費繰越計算書	地方公営企業法施行令第18条の2第1項の規定に基づき、報告するものです。	報告済
報告第4号	公益財団法人神栖市文化・スポーツ振興公社の平成28年度事業報告及び決算並びに平成29年度事業計画及び収支予算について	地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、報告するものです。	報告済
請願第3号	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願書	マクロ経済スライドを廃止し、「年金制度改革関連法」の新ルールは実施しないこと、全額国庫負担による最低保障年金制度を早急に実現すること、年金支給開始年齢の引き上げを行わないこと、年金の隔月支給を国際標準の毎月支給にあらためることを請願するものです。 (提出者：全日本年金者組合鹿行支部 支部長 藤川 充哉)	不採択

議案等議決結果一覧

議案番号	件名	内容	議決結果
請願第4号	非営利活動団体による子育て支援組織に対する支援拡大に関する請願書	転勤で引っ越された方々の子育て支援、やむを得ず、シングルマザー（ファザー）となり神栖市を次の住処として引越してきた方々の子育て支援、公助でできない、人と人とのつながりの部分を支援する団体に対して、運営場所の提供、または支援、運営に対する支援、子育て支援団体との意見交換会等を通じた支援強化を求め請願するものです。（提出者：飯田 裕美）	継続審査

〈議員による賛否一覧〉

件名		神崎 誠司	小野田 トシ子	田谷 正夫	須田 光一	石井 由春	額賀 優	高橋 佑至	村田 康成	境川 幸雄	西山 正司	遠藤 貴之	後藤 潤一郎	五十嵐 清美	佐藤 節子	関口 正司	飯田 耕造	伊藤 大	木内 敏之	大槻 邦夫	泉 純一郎	宮川 一郎	藤田 昭泰	長谷川 隆
議案第1号	神栖市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第2号	神栖市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第3号	神栖市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第4号	平成29年度神栖市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第5号	平成29年度神栖市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第6号	工事請負契約の締結について ・大野原児童館改築工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第7号	工事請負契約の締結について ・神栖市立波崎第一中学校グラウンド整備工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第8号	神栖市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

〈議員による賛否一覧〉

件名	神崎誠司	小野田トシ子	田谷正夫	須田光一	石井由春	額賀優	高橋佑至	村田康成	境川幸雄	西山正司	遠藤貴之	後藤潤一郎	五十嵐清美	佐藤節子	関口正司	飯田耕造	伊藤大	木内敏之	大槻邦夫	泉純一郎	宮川一郎	藤田昭泰	長谷川隆	
議案第9号	神栖市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	
議案第10号	専決処分の承認を求めることについて ・神栖市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	欠	○	○	○	
議案第11号	専決処分の承認を求めることについて ・平成29年度神栖市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○	○	
請願第3号	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願書	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	欠	×	×	×	○	○	×	×	-	×	×	○	×

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 -：議長】

※ 議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成反対が同数の場合、可決か否決か決定することになります。

お詫びと訂正

かみす市議会だより第51号（平成29年2月12日発行）において誤記がありました。6頁〈議員による賛否一覧〉の「議案第1号」、7頁〈議員による賛否一覧〉の「意見書案第2号」について、石井由春議員の「○」の表記は、「欠」の誤りでした。大変申し訳ありませんでした。今後このようなことがないように十分に注意いたします。

議会を傍聴してみませんか

市議会はどこでも傍聴できます。受付で、住所、氏名等を記入するだけです。どうぞお気軽にお越しください。

定例会は年4回開催されます。（3月、6月、9月、12月）

※平成29年第2回定例会の傍聴者数は延べ26人でした。

一般質問

平成二十九年第二回定例会の一般質問は六月十四日と十五日に行われ、九人の議員が市政全般について、市長はじめ関係部長等に見解を問いました。なお、掲載にあたっては一問一答形式で編集し、要旨を掲載してあります。



額賀 優 議員

産業振興について

問 平成二十八年度の企業誘致件数、立地面積を伺いたい。

(大柴産業経済部長) 当市に立地を決定した企業は五社、立地面積は約二十三ヘクタールです。

問 売却可能な未利用地面積を伺いたい。

(大柴産業経済部長) 茨城県が分譲中の奥野谷浜工業団地では約二十五ヘクタール、北公共埠頭地区では約

一・七ヘクタール、南海浜地区では約三・三ヘクタールの工業用地が売却可能となっております。

問 鹿島臨海工業地帯競争力強化プランの基本戦略、具体的施策について伺いたい。

(保立市長) 生産基盤の強化、産業集積機能の強化、物流機能の強化、エネルギー・食糧・基礎素材等の供給拠点化の促進、労働力の確保と人材育成機能の強化の五つの基本戦略に沿って、十二の具体的戦略と三十一の施策を示しています。当市では、特に関係のある鹿島経済特区の活用、鹿島港の機能強化、水素エネルギーの拠点化、保育施設の設置については重要な課題と捉え、取り組んでい

るところです。

問 企業誘致の目標について伺いたい。

(大柴産業経済部長) まち・ひと・しごと創生総合戦略において、平成二十七年から三十一年度までの五年度で工業団地内の事業所を十一増加する目標を掲げ、二十八年度までに既に二事業所が操業を開始し、五事業所が操業開始に向けて工事を始めているため、今後三十一年度までの三年間で四事業所以上の誘致を目標としています。

問 東関東自動車道水戸線の完成時期及び鹿島港への延伸について伺いたい。

(大柴産業経済部長) 国土交通省の管轄事務所に確認したところ、東関東自動車道水戸線の(仮称)銚田インターチェンジから潮来インターチェンジ間については平成二十七年から着工し、現在、用地買収が八十パーセント完了、残りの用地について買収を進めています。完成時期については未定とのこと。また、鹿島港への延伸についても潮来インターチェンジから鹿島港、鹿島臨海工業地帯周辺までのアクセスを含め、調査検討を行っているとのこと。市としても、東関東自動車道水戸線の整備促進と併せて鹿島港までの高速道路延伸を国・県等に要望しているところ。です。

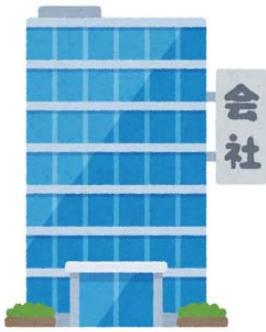
文化、知名度向上について

問 当市における映画やテレビドラマなどの映像制作への平成二十八年度の支援策、支援実績について伺いたい。

(大柴産業経済部長) 当市では、神栖市観光協会が事務局であるかみすフィルムコミッションにおいて制作支援事業を行っています。支援策は、映像制作者への撮影誘致、ロケ地に関する相談・案内、撮影に関する許可等手続に関する協力、宿泊施設、飲食店等の紹介、エキストラの募集・登録、地元住民の方への情報提供などを行っています。支援実績は、テレビのドラマ、バラエティー等が四件、CM二件、ミュージックビデオ七件、その他カタログ撮影等が九件となっております。

問 新規立地企業に対して工場名、支店名等に神栖の名前を入れていただくよう要望していく方針はあるか。

(大柴産業経済部長) 将来人口が減少する中で当市が今後も活力を維持していくためには、そうした知名度を高めるための取り組みの必要性は高いと考えています。新たに進出を考えている企業に関しては、機会あるごとに当市の知名度向上のため神栖の名前を使っていただきたい旨のお願いをしています。



高橋 佑至 議員

神栖市の土地利用について

問 市の農振除外の経緯と時期について伺いたい。

(秋永産業経済部次長) 農振見直しは前回、旧神栖町が平成十六年、旧波崎町が十七年に行い、合併後も計画が統合されないまま、旧町当時の計画で対応してきたため、二十七年から二十八年度の二カ年で農振見直しを実施しました。特に見直した波崎地域については、非農用地である山林、原野も含めた市街化調整区域のほぼ全域が農振農用地区域に指定していたため、市民の土地活用に支障を来しており、今回の農振見直しの際には茨城県や土地改

良区など関係機関からの同意を得て、土地改良事業において現在具体的な計画がない区域の非農用地を農振農用地区域から除外したものです。

問 農振見直しにより山林、原野を除外したことによるメリット、デメリットについて伺いたい。

(秋永産業経済部次長) 土地所有者が山林、原野を活用する場合に、以前は神栖市農業振興地域整備促進協議会に諮り、農振農用地区域から除外する必要がありました。農振見直しによりこの手続が必要なくなり、円滑な土地の有効利用が図られることで市民生活の向上につながるものと考えています。

神栖市の公共交通について

問 矢田部公民館と神栖済生会病院を結ぶ社会実験バス一便当たりの乗車人数を伺いたい。

(栗林企画部長) 平成二十八年十二月一日から三月末までの平均乗車人数は〇・九人、四月から五月末までの平均乗車人数は一・一人です。

問 稲敷市を例としたタクシー利用券助成制度の導入の考えを伺いたい。

(栗林企画部長) どのような方を対象とするのか、また、どの程度まで助成するのかにもよりますが、稲敷市の条件を当てはめると、距離によっては利用者の負担が増える場合や現在実施している福祉タクシー等の福祉施策との兼ね合い、また、バス事業者等への影響も想定され、慎重に検討していく必要があると考えて

います。

問 デマンドタクシーの利用集中時間帯において、便数を増やしてはどうか。

(栗林企画部長) 特定の時間帯のみ運行車両台数を増やすことについては運行事業者との調整が必要となりますが、市民の皆様の利用動向や費用対効果等を踏まえ、神栖市地域公共交通活性化協議会の中で検討していきたいと考えています。



敬老祝い事業について

問 敬老祝金の支給額が三億円を超える時期はいつ頃になるか。

(卯月健康福祉部長) 平成三十二年度と推計しています。

問 敬老祝金の支給対象を長寿の祝いの節目にした場合の支給額を伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 七十歳古稀から百歳百寿までの長寿を祝う年齢と百一歳以上の八つの節目に現行の二万円を支給した場合、平成二十八年度実績では支給対象者は二千五百六十三人となり、支給額は五千百二十六万円です。

選挙における投票率について

問 平成二十九年年度執行予定の茨城県知事選挙及び神栖市長選挙に向けた市民に対する告知活動について伺いたい。

(伊藤選挙管理委員会書記長) 四月に行政委員初会議での選挙啓発の協力依頼を行いました。現在は市の公施設十四カ所の入口に選挙執行案内ポスターの掲示を行い、さらに、広報かみすに選挙啓発の掲載を六月一日号から開始しました。また、主権者教育の一環として、市内の高等学校三校に出向き選挙出前講座を開催しています。併せて若者をターゲットにしたSNSでの啓発など選挙広報活動を行っています。



神崎 誠司 議員

神栖市の市政運営について

問 神栖市地域公共交通網形成計画策定後の事業の状況について伺いたい。

(栗林企画部長) 平成二十八年度は神栖市社会実験バスの運行や沿線周辺にお住まいの方を対象としたアンケートの実施に加え、市内公共交通機関に関する情報を網羅した神栖市公共交通マップの作成、また、イベントでのバスの展示や小学生向け路線バス乗車体験学習など各種モビリティマネジメント施策を実施しています。

問 神栖市地域公共交通網形成計画策定後の事業の課題について伺いたい。

(栗林企画部長) 社会実験バスの乗車人数が伸びていないことや平成二十八年七月に茨城県及び鹿行五市等で構成される鹿行地域公共交通確保対策協議会が発足される等、市域を超え、他自治体と結ぶ広域的な移動需要の必要性が年々高まっていることなどが挙げられます。

問 福祉バスの周知について伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 当制度などを説明した冊子を高齢者及び障がい者のいる世帯に配布して周知を図っています。また、民生委員をはじめとして居宅介護支援事業所、医療機関などにも制度の説明を行っています。

問 神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合に伴う基本構想の概要について伺いたい。

(保立市長) 市外への患者流出を抑え、市内の医療需要を充足するため、本院は現在の神栖済生会病院として増築し、診療科については、両病院の診療科を引き継ぐことを基本とし、また、労働災害や職業性疾病への対応等これまで鹿島労災病院が担ってきた役割も引き継ぐものとなっています。分院は鹿島労災病院跡地に有床診療所として新築し、本院と一体的な医療提供を行い、診療科については、内科のほか整形外科、小児科などの設置を目指すこととなっています。



問 再編統合における医療従事者の移籍について伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 現在、両病院間で給与面を含む労働条件などについての協議が行われていると伺っています。

問 再編統合に係る財政負担についての県との協議状況を伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 市としては、今回の再編統合を進めるにあたり財源の協議は欠かせないものであり、早く協議をすべきと再編統合協議会においても意見してきたところですが、現在までにその協議には至っていない状況です。

問 神栖中央公園防災アリーナ(仮称)整備運営事業の市民への周知について伺いたい。

(古徳都市整備部長) 事業の節目ごとに広報紙への掲載や報道機関等への情報提供を行うとともに、ホームページ上でこの計画に際しての基本構想並びにその基本計画、さらにはこの事業の入札に際しては、その事業の実施方針、要求水準書案などを公表し、意見をいただいています。

問 整備運営事業の会社構成について伺いたい。

(古徳都市整備部長) 神栖中央公園防災アリーナ(仮称)整備運営事業だけを目的として設立された神栖防災アリーナPFI株式会社、の構成員は、清水建設株式会社を代表企業として、株式会社東京アスレティッククラブ並びに三菱電機ビルテクノサービス株式会社の三社です。



佐藤 節子 議員

未就学児の発達に遅れのある子供達への支援体制について

問 発達障害のある幼児を把握した際の対応を伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 幼児の教育相談であるおはなしひろばと、児童発達支援事業所であるつくしんぼ、なのはなへの紹介や医療機関受診のための情報提供を行っています。

問 児童発達支援事業所の受け入れ人数と利用状況を伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 一日の利用状況は、つくしんぼが約六人、なのはなが約三人、民間のシードリーフ神

栖が一人で、各施設とも利用定員は十人です。

問 おはなしひろばの相談状況を伺いたい。

(島田教育部長) 平成二十八年年度の相談人数は五百四十人、相談回数は二千二十四回です。

問 市内小学校の特別支援学級及び特別支援学校への入学決定の流れはどうか。

(島田教育部長) 医師、特別支援学校教員、保健師、幼稚園教諭、小・中学校教諭、幼児教育相談員で構成する教育支援委員会による年三回の教育支援委員会を開催し、専門的な見地から判定しています。なお、最終的な判断については、保護者に委ねられています。

神栖市内を走る循環バス復活の見込みについて

問 循環バスの利用状況の推移を伺いたい。

(栗林企画部長) ピークの平成四年度は年間約八万一千人であり、その後約七万人弱で推移していたものの、十三年度頃より減少傾向が著しくなり、最後に運行した十九年度は三万九千人でした。

問 デマンドタクシーの補完となる循環バスを運行する考えはないか。

(栗林企画部長) 当市の形状を考えるとエリア制をとらざるを得ないことと、デマンドタクシー利用者との重複、また、事業経費の増加や民間交通事業者への影響等の問題があることから慎重に検討していく必要があると考えています。

問 今後の公共交通のあり方について伺いたい。

(栗林企画部長) 神栖市地域公共交通活性化協議会の中で協議の上、計画的に検討を進めていきたいと考えています。デマンドタクシー及び循環バスにより市民の移動全てを賄うことは難しく、路線バス、民間タクシーも含めた市全体の公共交通網の構築に努めていきたいと考えています。

交通安全対策について

問 平成二十九年の人身事故件数と死者数を伺いたい。

(沼田生活環境部長) 一月から四月までの数は、全国での件数は十五万三千四百九十件で死者数は千百七十七人です。県内の件数は三千二百七十五件で全国十一位、死者数は四十八人で十三位です。市内の件数は七十八件で県内十二位、死者

数は一人で県内十五位です。

問 市内における交通事故の実態を伺いたい。

(沼田生活環境部長) 神栖警察署に確認したところ、交差点付近での出会い頭の事故や脇見漫然運転による事故が多いとのことでした。

問 幼稚園・小学校・中学校・高齢者に対する交通安全教育について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 警察官や交通安全教育講師の方をお招きし、交通安全講話や自転車の乗り方について、さらに小学校高学年及び中学生にはスタントマンによる交通事故の再現や大型トラックやバスを利用した交通安全教室を行っています。高齢者に対しては、主にシニアクラブを対象として交通安全に関する講話の中で、反射材の活用や無理な横断を控えることなどを呼びかけています。



小野田トシ子 議員

公共交通整備事業について

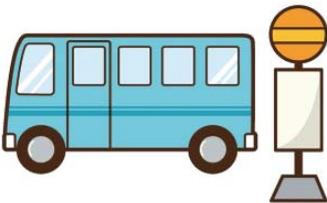
問 主要バス停における屋根、ベンチ整備の考えを伺いたい。

(栗林企画部長) 歩道に設置されているバス停においては、歩行者の安全のため、屋根、ベンチ設置後に歩行に影響のない歩道幅が確保される必要があること、また、歩道以外に設置されているバス停を整備する場合は土地の所有者のご協力が必要となるなど難しい点もありません。市民の方の利便性向上のため、路線バス主要なバス停を中心に関係機関とも協議し、整備に向けた検討を行っていき

いと考えています。

問 社会実験バスの今後の方向性について伺いたい。

(栗林企画部長) 現在、社会実験バスの実験期間は平成二十九年九月末までの予定となっていますが、六月一日からダイヤ改正を行っており、ダイヤ見直し後の利用傾向を把握するためにある程度の実験期間が必要と考えています。また、路線の見直しを行う場合も国への届け出が必要となり、認可までに数ヶ月を要することから、需要を見極めるためにも十月以降の実験期間の延長も検討していきたいと考えています。



勤労者対策事業について

問 出産・育児で離職中の女性や中高年の方々などの地域人材の再就職支援について伺いたい。

(大柴産業経済部長) 就労支援として公共職業安定所に設置した閲覧用パソコンで提供しているほか、常陸鹿嶋公共職業安定所と鹿行五市、企業、学校で構成する常陸鹿嶋雇用促進協議会が提供している鹿行管内の求人情報も市ホームページから閲覧できるようにしています。また、鹿島セントラルホテル内のインフォメーションサロンでは、県の相談窓口として、いばらき就労支援センターによる出張相談が毎週木曜日に行われており、専門家による就職相談、適職診断、職業紹介など一連の就職支援サービスが無料で提供されています。

問 UIJターン促進事業について、さらなる魅力ある施策はあるか。

(大柴産業経済部長) 平成二十九年度は就職面接会を七月四日に、企業研究会を三十年二月に開催する予定としており、二十八年度の実施結果を踏まえ、首都圏の大学、短期大学及びハローワーク等範囲を拡大した積極的なPRを図るなど今後もさらなる事業の充実・発展に取り組んでいきたいと考えています。

シルバー人材センター事業について

問 会員数を伺いたい。(畠山福祉事務所長) 平成二十九年五月末現在四百九十一人、二十三年のピーク時には五百七十五人であったため、八十四人の減少となっています。

問 会員の就業状況について伺いたい。

(畠山福祉事務所長) 厚生労働省のシルバー人材センターの適正就業ガイドラインに示された概ね月十日程度以内、週二十時間を超えないことを目安に就業しており、一人当たりの配分金の単価は業務内容により異なりますが、一時間当たり八百円から千円円となっています。

問 会員がさらに活躍できるための施策はあるか。

(畠山福祉事務所長) シルバー人材センターでは、平成二十九年年度から三十三年度の五年間を計画期間とする中期計画書を策定し、会員の増加と受注件数を拡大し、財政基盤を確立するための施策を掲げ、その一環として二十九年年度から刃物研ぎや切り花、手芸品の販売のショップを開催するなど新規事業の研究開発にも取り組んでいます。また、

今後増加する介護・生活支援分野をはじめ、女性会員に適した業務に対応していくため、女性会員の入会促進を図っています。



西山 正司 議員

動物愛護について

問 犬及び猫の不妊・去勢手術補助金に対する申請可能頭数を伺いたい。

(沼田生活環境部長) 飼育している犬猫を対象に毎年度一世帯当たりそれぞれ一頭としています。

問 茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例が制定されたことを受け、市の取り組みについて伺いたい。

(沼田生活環境部長) 市では動物愛護の推進をするため広報紙やホームページのほか、大型店舗での啓発や不妊・去勢手術補助事業を実施しています。平成二十八年度は県獣医師会等のご協力をいただき、神栖中央公園において動物愛護フェアを開催し、犬のしつけ教室や飼育相談等を行いました。

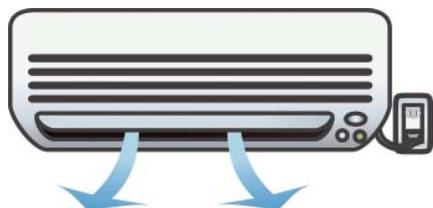
問 県内における動物愛護の先進的な取り組みについて伺いたい。

(沼田生活環境部長) 牛久市、守谷市、古河市、阿見町が独自で動物の愛護及び管理に関する条例を制定しており、内容としては、行政、市民、飼い主の責務や犬の係留義務、飼い主不明の犬猫の一時預かりなどを規定しています。

安心・安全なまちづくりについて

問 小・中学校のエアコン設置に向けた準備状況について伺いたい。

(島田教育部長) 多額の費用及び年数が必要になることから、既に導入した市町村の先進事例も含め、直接施工、リース、メンテナンス付きリースなど、より効果的、効率的な導入方法の情報について現在収集中です。



問 神栖警察署と締結した防犯カメラ設置協定の内容と今後の計画について伺いたい。

(沼田生活環境部長) 犯罪の未然防止を図り、安全・安心なまちづくりを推進することを目的として、警察署が把握する犯罪状況等を踏まえ、地域の実情に合った効果的な設置場所を協議の上、設置するものです。平成二十八年度は鹿島セントラルホテル前の中央分離帯と知手浜交番前の二カ所に固定式カメラ二台ずつを設置しました。二十九年度は神栖地域と波崎地域の二カ所に固定式カメラ二台ずつの設置を検討しています。



問 神之池全周に安全柵を設置できないのか。

(古徳都市整備部長) 神之池は平成三十一年九月に開催される、いきいき茨城ゆめ国体のカヌー競技の会場にもなっていますので、今後、神之池緑地の整備を行って行く中で設置していく方向で進めていきます。

問 通学路の事故発生場所に対する取り組みについて伺いたい。

(島田教育部長) 学校においては児童生徒への注意喚起を行うとともに、交通安全教育の徹底を図っています。また、事故の発生した場所や箇所への対応は、毎年各小・中学校から報告される危険箇所等を含め教育委員会において集約した後、危険箇所によっては学校関係者、警察署、潮来土木事務所、防災安全課及び道路整備課との合同で危険箇所を再点検するなど関係機関等に対し、改善要望を

行うなどの対応をしています。

問 公用車へのドライブレコーダー設置の考えを伺いたい。

(保立市長) 平成二十八年三月からドライブレコーダーの導入を開始し、現在二十三台の公用車に設置しています。

問 教職員へのAED使用方法の訓練は行われているのか。

(島田教育部長) 各学校によりその内容は異なりますが、通常年一回程度の研修を消防署や日本赤十字により行っている状況です。また、教職員初任者は茨城県において必ずAEDを用いた心肺蘇生法について研修を行っています。



村田 康成 議員

当市を取り巻く課題と今後の市政運営について

問 神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合について、基本構想及び今後のスケジュールを伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 基本構想については、現在、神栖済生会病院を増築して本院とし、三百五十床程度を目指すこととなつています。診療科については、両病院の診療科を引き継ぐことを基本とし、鹿島労災病院がこれまで担ってきた役割も引き継ぐものとなっております。分院は、鹿島労災病院跡地に有床診療所を新築し、本院と一体的な医療提供を行うものとなっております。

ます。診療科については、内科のほか、外来ニーズの多い外科、整形外科、小児科などの設置を目指すこととなっております。今後のスケジュールについては、平成三十年年度を目途に両病院を統合し、統合までに分院が建築される予定です。本院の三百五十床への増築は、医師や看護師などの充足状況を踏まえ、早期の実現を目指すこととなっております。

問 神栖済生会病院の負債状況に対する考えを伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 負債に対して補填等をする考えはありませんが、他の医療機関と同様に、医師確保事業補助や寄附講座などの支援を継続していきます。

問 神栖済生会病院と鹿島労災病院の医師、看護師、職員の人数を伺いたい。

(卯月健康福祉部長) 平成

二十九年四月一日時点で、神栖済生会病院の医師は二十一人、看護師が七十八人、医療職が二十七人、事務職が五十五人、鹿島労災病院の医師は十三人、看護師が六十二人、医療職が十六人、事務職が三十人となっております。

問 市民協働の観点から、アリーナ建設に係る市民活動についての考えを伺いたい。

(保立市長) 防災アリーナの規模等については、計画づくりの段階から市民の皆さんのご意見を取り入れ、二年間という長い時間をかけて決定したものです。また、市民の代表である議会に対しても、これまでに何度も事業内容について説明してきました。その上で十分にご審議をいただき、事業契約に至ったものと考えられています。私は、常日頃より市民の皆さんの声に耳を傾けながら市政運営を進め

てきました。この防災アリーナは、そういった市民ニーズを取り入れて計画したものであり、現行の計画どおり進めていかなければならない事業であると考えています。

問 病院統合やアリーナの建設を含め、今後の財政負担における課題をどう捉えているのか。

(保立市長) 公共施設の維持管理等については、公共施設等総合管理計画の方針に基づき、適切な維持管理や長寿命化などによる経費の削減を図るとともに、公共施設の集約化、複合化、転用、除却のために必要な経費として、充当率や交付税措置の点で有利な公共施設等適正管理推進事業債の活用を検討していきま

み、健全な財政運営に努めていきます。



須田 光一 議員

安全安心のまちづくりについて

問 平泉・深芝地区の都市計画道路の用地取得状況を伺いたい。

(古徳都市整備部長) 用地取得率は平成二十八年度末で、三・四・一八号線が九十二・一九パーセント、三・四・二二号線が六十九・八九パーセントです。

問 深芝豊田・昭田地区のまちづくりについて伺いたい。

(古徳都市整備部長) 地区計画の導入を検討している区域が、約百ヘクタールある

り、東日本大震後の土地利用状況については、約五割が農地、雑地利用が約二割、宅地利用が約一割、残りは道路、水路などの利用となっております。当地区は地権者等で構成される深芝豊田・昭田まちづくり協議会と市で協議を行い、まちづくりの方針について検討を進めています。

問 神栖市学校適正規模適正配置基本計画における神栖第二中学校学区について伺いたい。

(須田教育長) 児童生徒数の増加により教室数が少なくなる場合は、校舎の増設により対応する計画です。神栖第二中学校においては、平成三十二年度の増築校舎の供用開始に向け、二十九年度は実施設計を行っています。今後の適正化については、息栖小学校及び深芝小学校の児童数の推移を検証しながら、適正に対応したいと考えています。

問 豪雨等冠水対策として、進められている北公共埠頭一号雨水幹線整備工事の補助率と進捗状況について伺いたい。

(古徳都市整備部長) 神栖一丁目や平泉東付近などの人口集中地区から北公共埠頭までの整備を進めています。この事業により、地域の浸水被害の軽減と、雨水を海へ排水することにより、河川水位の上昇による排水機能の低下を軽減する一助となっています。本事業は、防災安全社会資本整備交付金を活用し、事業費の二分の一の補助を受け実施しています。また、事業の進捗状況は、市街地から和田山緑地までの約千九百六十メートルの整備が完了し、進捗率は総延長四千九百メートルに対し、四十八・九パーセントとなっております。



関口 正司 議員

生活保護について

問 生活保護基準以下で受給していない人、申請をしていない人はどれくらいか、また、調査はしているのか。

(**岡山福祉事務所長**) 平成二十二年の厚生労働省の推計による生活保護の受給割合である捕捉率は、国民生活基礎調査ベースで十五・三パーセントから三十二・一パーセントです。市の捕捉率については、生活保護基準以下の所得の世帯であつても、資産の状況や親族からの扶養、稼働能力の有無など、受給要件を満たすかどうかを判断する必要があります。そのため、推計すること

は困難です。

問 生活保護世帯数の今後の見通しについて伺いたい。

(**岡山福祉事務所長**) 平成二十九年四月で六百五十五世帯七百六十九人であり、この三年間で三十八世帯三十八人増加しています。国・県の推移も増加傾向にありますので、今後も高齢化などの要因により増加すると考えています。

国保と医療について生活費非課税改善は

問 国民健康保険の県移管に伴って滞納者への徴収が厳しくなるのか。

(**卯月健康福祉部長**) 平成三十年年度以降の新制度において、都道府県が財政運営の責任主体として中心的役割を担うこととされている一方、市町村はこれまでと同様に、地域住民と身近な関係の中、資格管理や保険

給付、保険料率の決定ほか徴収などを担うこととなり、滞納者への対応に変化はないものと考えます。

問 鹿島労災病院が閉院になることによる市民の健康への影響について伺いたい。

(**卯月健康福祉部長**) 病院統合により、神栖済生会病院が増築され、本院として救急医療をはじめとする医療体制の充実が図られるとともに、労働災害への対応等の機能も引き継ぐものとなっております。また、鹿島労災病院跡地に分院として診療所が新設され、本院と連携した一体的な医療提供を行うこととなっております。これにより、現状の医療体制を十分補完できるものと考えています。

核廃絶と脱原発

問 核兵器廃絶のヒバクシャ国際署名の推進について市としての取り組みを伺いたい。

(**保立市長**) 平和への願いは市民の皆さんも職員も皆同じです。今後とも核兵器廃絶へ向け、平和運動に取り組んでいく中で、市ホームページで平和行政コーナーの充実を図り、併せてヒバクシャ国際署名についても、市民の皆さんへの案内と職員への周知を図ることを検討していきます。

問 東海第二原発の事故が起きた場合の検討や調査について伺いたい。

(**保立市長**) 一万が一事故が発生し、放射性物質の影響が当市に及んだ場合を想定し、情報収集体制や避難指標準等の防護活動などを定めた市独自の原子力災害対策計画を策定し、平成二十五

年度に地域防災計画に原子力災害対策編として追加しました。今後は、国が定める原子力災害対策指針の改正等に合わせ計画の修正を行い、原子力災害への対応に努めていきます。東海第二発電所の施設等について当市は調査権限がないことから、県原子力安全対策委員会の調査結果を注視していきます。

子どもの健やかな成長

問 憲法を遵守した教育を行っているか。

(**須田教育長**) 憲法及び関係法規並びに学習指導要領等に基づき、憲法を遵守した適切な教育に取り組んでいると考えています。憲法についての学習は、小学校、中学校において、発達段階に応じて学習しています。

委員会での主な質疑内容

本会議において十一件の議案等が所管の常任委員会に審査付託となりました。慎重審査の結果、最終日の本会議において、九件の議案は原案のとおり可決すべきものに、請願第三号は不採択とすべきものに、請願第四号は継続審査と報告されました。

◆総務産業委員会

(五十嵐清美 委員長)

〔議案第一号〕

問 課税免除を行っている八十六事業所のうち、赤字の法人数を伺いたい。

答 経常ベースで六法人、純利益ベースで七法人となっております。

問 石炭火力などの発電事業は適用となるのか。

答 発電事業については、再生可能エネルギーに限られており、石炭火力によるものは、適用外となっております。

問 課税免除による減収額の一部において、国から補填されなかった場合の財源について伺いたい。

答 一般財源となります。

◆教育福祉委員会

(西山 正司 委員長)

〔議案第六号〕

問 大野原児童館の改築工事にあたり、館庭の使用に支障は生じないのか。

答 現施設の館庭に建て替えるため、使用できなくなりますが、隣にある児童公園を使用します。

問 大野原児童館は避難施設となるのか。

答 大野原児童館は避難施設ではありませんが、約百メートルの範囲内にある大野原西小学校が避難施設であることから、有事の際はそちらに避難することになっていきます。

〔議案第七号〕

問 波崎第一中学校グラウンド整備工事の際の授業形態について伺いたい。

答 平成二十九年十月からは、グラウンドの土工事が始まり使用できないため、代替として、体育館を利用した体育授業、市の運動施設の活用、また近隣学校等と調整し、授業を進めていく予定です。

問 波崎第一中学校以外にグラウンド整備工事計画はあるのか。

答 平成二十九年度は神栖第三中学校、軽野小学校の工事を行う予定です。

問 波崎第一中学校グラウンド整備工事における排水部分について伺いたい。

答 雨水を流すための延長五百四十六メートルのU字溝をグラウンドの外周に布設し、三百七トン溜め込める貯留槽を設け、雨水を

一時的に溜め込み、一定量を道路側溝に流す設計になっていきます。

◆都市環境委員会

(村田 康成 委員長)

〔議案第二号〕

問 条例の名称中「寸法」以外の表現はないのか。

答 今回、名称の改正はありません。

〔議案第八号〕

問 標準断面の構造について伺いたい。

答 神栖市市道の構造の技術的基準を定める条例に基づいた基準を適合させています。

委員会が行政視察を実施

■地域振興，商工観光行政について視察 = 総務産業委員会

5月17日から19日の日程で，山口県周南市の「水素の利活用に向けた取り組み」について，福岡県宗像市の「赤間宿通り活性化」について視察を行いました。

周南市では，周南コンビナート内の工場において生産過程で副次的に大量発生する水素を未来のエネルギーとして利活用するため，水素ステーションの設置や，水素学習室の開設など様々な取組みを官民合同で進めていました。

宗像市では，江戸時代に宿場町として栄えた赤間宿通りに賑わいを取り戻すため，市と地元の方々（商店主等）で協議を進め，地域の拠点施設となる街道の駅赤馬館の整備，赤間宿通りでの大規模イベントの実施など，再生のための取組みを行っていました。



■福祉行政，教育行政について視察 = 教育福祉委員会

5月17日から19日の日程で，鹿児島県霧島市の「介護保険ボランティアポイント制度」について，熊本県熊本市の「幼保連携型認定こども園」について視察を行いました。

霧島市では，元気高齢者のボランティア活動への参加を推進し，地域内の高齢者相互の助け合い活動や世代間交流等を活性化することにより，生きがいづくりや介護予防を推進する介護保険ボランティアポイント制度を中心として，高齢者がいきいきと暮らす地域社会を目指していました。

熊本市では，幼保連携型認定こども園の学級の編成，職員，設備及び運営に関する基準について，市が国の基準に対して5つの独自基準を設け，保育環境の向上に努めていました。



■防災行政，生活環境行政について視察 = 都市環境委員会

5月9日から11日の日程で，和歌山県和歌山市の「自主防災組織育成事業，災害対策基本条例」について，奈良県生駒市の「環境モデル都市の取組」について視察を行いました。

和歌山市では，「自助」，「共助」，「公助」の精神のもと，災害に強いまちづくりを目指すことを目的に「和歌山市みんなでとりくむ災害対策基本条例」を制定し，防災に関する交付金・補助金の統合により地域の要望を補助事業の運用に反映しやすくするなど，自主防災組織の育成に取り組んでいました。

生駒市では，平成26年3月に環境モデル都市に選定され，都市構造の再設計や資源循環・エネルギー自給システムの構築など，先駆的な取組にチャレンジしていました。



市議会のうごき

(平成29年6月～8月)

6月

- 1日 鹿島地方事務組合議会臨時会
- 5日 議会運営委員会
- 13日 第2回定例会開会
- 14日 一般質問
- 15日 一般質問
- 16日 議案質疑
予算決算常任委員会
- 19日 各常任委員会
予算決算常任委員会分科会
- 20日 議会活性化推進特別委員会
- 26日 予算決算常任委員会
- 27日 第2回定例会閉会

7月

- 5日 議会運営委員会行政視察
（北海道函館市、北海道恵庭市）
- 7日
- 11日 鹿行広域事務組合議会視察研修
（富山県氷見市、石川県羽咋市）
- 12日
- 12日 鹿島地方事務組合議会視察研修
（富山県氷見市、石川県羽咋市、
石川県金沢市）
- 14日
- 13日 茨城県市議会議長会視察研修会
（埼玉県川越市）
- 14日
- 18日 鹿行広域事務組合議会臨時会
- 24日 茨城県後期高齢者医療広域連合
議会臨時会
- 25日 茨城県東市議会議長会定例会
- 26日 市議会だより編集委員会
- 28日 議会運営委員会
第2回臨時会閉会
議会活性化推進特別委員会

8月 (予定)

- 4日 第2回臨時会閉会
- 17日 茨城県後期高齢者医療広域連合
議会定例会

次回の9月議会予定

期日	曜日	日程(案)
12日	(火)	本会議 (開会, 提案理由説明)
13日～14日	(水)～(木)	本会議 (一般質問)
15日	(金)	本会議 (議案質疑) 予算決算常任委員会
16日～18日	(土)～(月)	休会
19日～20日	(火)～(水)	休会 (各常任委員会, 予算決算常任委員 会分科会)
21日	(木)	休会 (議会活性化推進特別委員会)
22日	(金)	休会 (議事整理)
23日～24日	(土)～(日)	休会
25日～26日	(月)～(火)	休会 (議事整理)
27日	(水)	休会 (予算決算常任委員会)
28日	(木)	本会議 (委員長報告, 討論, 採決, 閉会)

お知らせ

左の予定表は平成29年第3回定例会（9月）の議会予定です。

変更になる場合がありますので議会の傍聴を希望される方は事前に事務局にご確認をお願いいたします。

※スマートフォンでも議会中継がご覧いただけます。

→こちらから

<http://smart.discussvision.net/smart/kamisu/>

[パソコン・スマートフォン共通]

編集後記

この度の九州北部豪雨で被災された方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

関東でも三十度を越す気温かと思えばひょうが降るなど経験のない様な天候の変化があります。

神栖市は海と川に囲まれた地形である為、更に防災対策を強化し市民の皆様の声を市政に届け、安心安全な街づくりを進めて参ります。
(小野田トシ子)

神栖市議会だより編集委員会

- 委員長 額賀 優
- 副委員長 小野田トシ子
- 委員 後藤 潤一郎
- 〃 西山 正司
- 〃 須田 光一

編集委員会では、議会や本紙に対する皆様のご意見・ご要望などをお待ちしています。

〒314-0192

神栖市溝口4991-5

神栖市議会事務局

電話 0299-90-1172 (直通)

Eメール:

gikai@city.kamisu.ibaraki.jp